

元気企業
訪問

株式会社
トリ風土研究所

「ひょうご味どり」復活へ プロジェクトを推進 ネットや催事で直販し 自慢の地鶏をPR



地鶏復活へ高校生と協働

「ひょうご味どり」は、薩摩鶏と名古屋種、米国生まれのプリマスロックという3つの品種を掛け合わせた配合種で、1991年に県立農林水産技術総合センターにより開発されました。歯応えとコクのある味わいが特長ですが、その肉質の良さとは裏腹に、生産量はピーク時の年間5万5,000羽から2万羽まで減少。飼育に手間が掛かり、大量供給と低価格が求められる流通には乗りにくいのがその理由です。

「この素晴らしい地域の資源を眠らせたままにしておくのはもったいない」と「地鶏復活プロジェクト」を立ち上げたのが、株式会社トリ風土研究所代表取締役の宮武裕右さんです。県立播磨農業高校の生徒たちが独自の飼料を使って育てた「ひょうご味どり」800羽を、同社が全量買い取り、インターネットで販売するというもの。高校生による飼育は9月から始まり、10月1日には販売サイトも完成しました。販売されている鶏肉は丸ごと1羽分。「もも焼き」「空揚げ」「すき焼き」「水炊き」用の4種類が1セットになっており、レシピと調味料も付いています。

宮武さんはもともと地域新聞の運営および広告代理業を営んでいました。

その仕事で出会ったのが、消費者の目の前で1羽の鶏をさばいて部位に分け、調理していく解体講座。大阪で12の焼き鳥店を展開する野網厚詞さん（表紙写真・現取締役チキンディレクター）が、「生産者が丁寧に育てている素晴らしい鶏を紹介し、命を頂いていることの重みを伝えたい」との思いで続けている食育イベントです。宮武さんは話を聞いて感銘を受け、野網さんと共に地鶏の普及活動をしていきたいと2013年にトリ風土研究所を設立。活動の第1弾が「地鶏復活プロジェクト」でした。

「このまま放っておけばいい地鶏を生産しても衰退するだけ。農業高校の生徒たちも、せっかく養鶏のことを学んでも就職口がありません。新たな視点で流通を改革することによって養鶏業の可能性を広げたい」

手始めに、クラウドファンディングという手法を使ってプロジェクトのための資金を一般から公募し、392万円を集めました。プロジェクトの推進と並行して

鶏料理専門レストラン「the Open」を大阪府豊中市に開設。解体講座と料理を楽しむイベントを定期的に関き、「ひょうご味どり」を「幻の地鶏」としてPRしています。東京や大阪の食イベントにも積極的に出店し、独自に編集した「トリの教科書」を使った食育レクチャーを実施しています。

バイヤーが着目し催事で販売へ

「ひょうご・神戸チャレンジマーケット」に参加したのは9月のこと。会場には、三越伊勢丹新宿本店のバイヤーの姿がありました。25分間のプレゼンテーションとその後個別商談で宮武さんの思いを聞いたバイヤーは、新宿本店の催事での販売を提案しました。東京の料理専門学校の生徒たちが、「ひょうご味どり」を使った料理を客の前で披



高校生たちによる飼育の様子はツイッターで日々発信

露し、その肉質の良さをアピールする
予定です。「まさか百貨店のバイヤー
の方がプレゼンの場に来てくださると
は思っていませんでした。金融機関の

方も事業に興味を示してくださってい
ます」と、宮武さんは早速販路開拓に
結び付いたことを喜んでいきます。

当面の目標は「ひょうご味どり」の認

知拡大を図り、新たな生産者を創出す
ることです。「全国に埋もれた地鶏をプ
ロデュースし、いずれは世界に発信し
たい」と世界市場に目を向けています。

会社概要
株式会社トリ風土研究所

所在地 神戸市中央区磯上通6-1-17 ウェンブレビル6階

代表取締役 宮武裕右 事業内容 地鶏の販売

レストラン「the Open」 豊中市蛸池中町3-6-18 TEL 070-5664-6160 (予約専用番号)

TEL 072-737-9801

URL <http://www.torifood.jp/>

支援メニュー講座

ひょうご・神戸チャレンジマーケット

あなたの会社のビジネスプランを応援します 資金調達や販路開拓のチャンスが広がります

制度概要

創業・第二創業、経営革新に取り組む中小
企業・ベンチャー企業・個人事業主が、ビジネ
スプランの発表を通じて、金融機関や一般企業
等との幅広いマッチング（資金調達や販路開拓
等）を行うチャンスを提供するものです。

応募者の中から選定された企業・個人が、
「ひょうご・神戸チャレンジマーケット」におい
て、ビジネスパートナーを求めて参加する金融機
関・ベンチャーキャピタル・一般企業等の前でビ
ジネスプランのプレゼンや個別商談を行います。

メリット

- 個別ではアポを取るのも困難な有力企業や金融機関等にビジネスプランを聴いてもらうことができ、取引のチャンスが広がります。
- 中小企業基盤整備機構の販路開拓コーディネーターによる販路開拓支援が受けられます。
- プレゼン資料（パワーポイント）作成の個別指導に助成が受けられます。また、プレゼン資料は後の営業ツールとして活用できるため、営業の幅が広がります。
- 各種支援メニューにより、事業化を側面からサポートします。

第22回「ひょうご・神戸チャレンジマーケット」
2015年2月17日（火）・18日（水）開催予定

〈裏表紙参照〉

参加を希望する方は、当センターHP（「チャレン
ジマーケット」で検索）をご覧の上、「参加申込
書」をファクスまたはEメールで送付してください。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター創業推進部 新事業課 TEL078-230-8110